

2021年度 豊岡市施政方針と予算（案）

令和3年第1回豊岡市議会定例会（2月26日～3月26日）で、
中貝市長が表明した2021年度施政方針の一部を抜粋してお知らせします。
また、市議会に提案した2021年度当初予算（案）を解説します。
※施政方針の全文は市ホームページ「こちら市長室」に掲載しています。



芸術文化観光専門職大学

〔写真：芸術文化観光専門職大学〕

広報とよおか 2021年4月号 2



施政方針

「豊岡に暮らす価値」

未来への責任として、引き続き、市政最大の課題、地方創生・人口減少対策一に取り組みます。

豊岡の人口減少の最大の要因は「豊岡に暮らす価値」が若者には選ばれていないこと、とりわけ若い女性に選ばれていないことです。選ばれていないのは「大都市、とりわけ東京に暮らす価値」。それは、あまりにも強大な価値と言わざるをえません。したがって豊岡は、地域に深く根ざしつつ、絶えず世界を意識しながら、突き抜けた「豊岡に暮らす価値」と「世界に通用するローカル」を磨き上げていくこと、「小さな世界都市」戦略が地方創生の有力な戦略であると考えています。

芸術文化観光専門職大学

①コウノトリも住めるまちづくり②コウノトリ育むお米の輸出③インバウンドの促進と並ぶ「小さな世界都市」実

現のためのエンジン「深さを持った演劇のまちづくり」がさらに推進力を増します。同大学としっかりと連携を図ります。

女性に選ばれるまち

男性、女性に関わらず、生きやすく、生きがいのあるまちを創ることが不可欠です。ジェンダーギャップの解消はその旗印です。過去と現在を否定し批判することに主眼があるのではなく、これまで豊岡が女性との関係でフェアではなかったという反省に基づき、男性中心の「モノクロの世界」を、男女が協働する「色合いに満ちた、より豊かな世界」に変えていこうという未来に向けた試みです。「豊岡市ワークイノベーション推進会議」に参加する企業や幅広い市民と協働しながら、一歩ずつ着実に進めます。

豊岡の最終目的地は「いのちへの共感に満ちたまち」

市の基本構想にあるとおり、「小さな世界都市」は市のまちづくりの中間目標であり、その先にあるのは「いのちへの共感に満ちたまち」です。「共感に満ちたまち」は市のまちづくりの中間目標であり、その先にあるのは「いのちへの共感に満ちたまち」です。

共感に満ちたまち」です「共感」とは、他者への想像力のことを言い、「いのちへの共感」は他のいのちへの想像力であり、その「いのち」の立場に立ったとき、世界がどのように見えているかに思いを寄せる能力のことです。

ジェンダーギャップ解消戦略

女性を男性と同様、社会的・経済的な夢を持ち、悔いのない人生を送りたいと願う生身の人間として、より良く想像し、尊重し、互いに支え合う社会を築き上げる戦略です。それは「いのちへの共感に満ちたまちづくり」として、不可欠な取組みです。その意味でも、ジェンダーギャップの解消が、豊岡において揺らぐことなく進んでいくよう努力を重ねてまいります。

引き続き、市民の皆様と共に「小さな世界都市・Local & Global City」の実現と、その先にある「共感に満ちたまち」を目指して進んでまいります。